

地域共創タウンミーティング in さぬき市 実施報告書

1 開催概要

日時：令和7年2月7日（金）10時30分～12時

場所：長尾公民館 第一講座室

目的：地域住民の方々との意見交換を通じて、地域における課題を知り、大学・地域共創プラットフォーム香川の今後の取組みに生かすことを目的として実施する。

参加者：さぬき市（多和地区）住民4名、さぬき市職員1名、香川県職員1名、県内大学等教職員4名

2 タウンミーティング内容

「地域に定着する人づくりと活躍する場づくり」について

- ・多和の会は、産直市、夏祭り、天体望遠鏡博物館等の取組を行っている。また、若い世代も参加している。
- ・若い世代が中心になり、一旦途絶えていた獅子舞も復活させることができたが、多和の会のメンバーの平均年齢が70代まであがってきており、世代交代が急務である。
- ・新規就農者を増やす取組（農業機械の貸し出し等）は行われていない。
- ・天体望遠鏡博物館については、ボランティアスタッフに市外在住者が多く、平日は対応できないことがネックになっている。主なスタッフが高松市や丸亀市、岡山県在住である。
- ・産直市については土日みの開催である。スタッフに平日仕事があることや野菜等の出品数が減ってきていることもあり、毎日開催できる状態ではない。
- ・どぶろく製造については、税務署対応（毎月の申告納税等）の負担が大きい。また、ふるさとの納税の返礼品にすれば売れると思うが、スタッフは仕事をしながらなのでとても対応できない。輸送に関しても「保冷」と「天地無用」にする必要があり、梱包するのも手間がかかる。
- ・移住体験ハウスについては、移動が不便で、自動車が必要になる。最寄りのスーパーまで20分くらいかかることが課題である。利用状況は25%程度で、移住につながった実績はない。
- ・空き家が多く、そのまま放置されていることが多い。
- ・10年後の多和地区をどうしたいのか。市役所や若い世代を交えて議論した方が良い。
- ・県やさぬき市では、空き家対策として、空き家改修の補助事業、家財道具の処分も含めた補助事業等を行っている。また、地域おこし協力隊は、OBやOGがネットワークを作って、サポートする体制を整えている。
- ・プラットフォームには、地域のイベントに関わってもらいたい（学生の発想が欲しい。）。また、産直内にある農家レストランの厨房を活用する企画が欲しい。